

お知らせ

ちくごおおぜき

こうずいじ

ぜんかい

筑後大堰で洪水時（ゲート全開）の操作を行いました。

筑後大堰では、梅雨前線の影響により、筑後川の堰地点の河川流量が増加したことから、洪水を安全に流下させるために、平成30年6月20日9時50分からゲートの全開操作を行いました。

なお、今回のゲート全開操作は昭和60年4月の運用開始より125回目（今年度は1回目）となります。



【雨量状況】速報値

瀬ノ下上流域累計雨量：127 mm
（6月18日4時から20日9時）

【河川状況】速報値

大堰直下流量：毎秒約1,600立方メートル
堰地点での水位：TP+3.15m
（6月20日10時）

【操作状況】速報値

洪水時（ゲート全開）開始
平成30年6月20日9時50分

全開操作中の筑後大堰
（上流から下流を望む）
平成30年6月20日11時撮影

筑後大堰の管理状況は、筑後大堰のホームページ・iモードでご覧になれます。

<http://www.water.go.jp/chikugo/coozeki/> iモード <http://ckgoozeki.jp>

現在のゲート状況は、次の場所でご覧になれます。

iモード <http://ckgoozeki.jp>

最近の管理情報及び過去の全開状況は、次の場所でご覧になれます。

<http://www.water.go.jp/chikugo/coozeki/>

平成30年6月20日



独立行政法人 水資源機構筑後川局

発表記者クラブ

久留米市政記者クラブ
佐賀県政記者クラブ

問い合わせ先

○ 独立行政法人水資源機構 筑後川局 総務課長 なかやま 中山
住 所：福岡県久留米市東町42-21
電 話：0942(34)7001

【平常時のゲートの状態】

平常時のゲート操作は、水道用水や農業用水が安定して取水できるように、筑後大堰の上流水位を一定 (T.P 3.15m) に保つように、また、塩水の遡上を防止するため河川環境に配慮しつつ、川の水量に合わせてゲート进行操作しアンダーフロー（ゲートの下から流す）を主体とした操作を行っています。

制水ゲートは、ゲートの下から水を流しています。

調節ゲートは、微調整のためにゲートの上から水を流しています。

筑後大堰を下流から見た模式図

筑後大堰を横から見た模式図

【洪水時のゲート全開の状態】

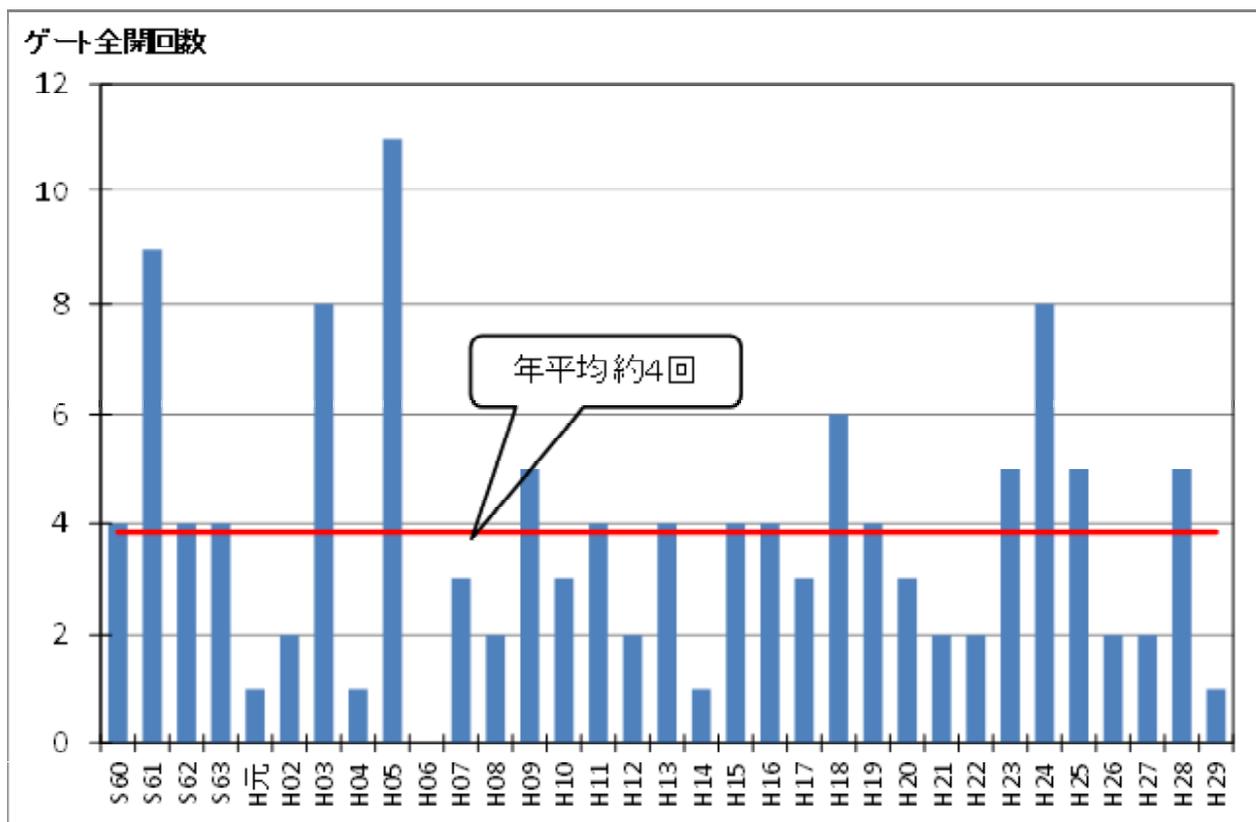
洪水時のゲート操作は、全てのゲートを水面より上げて、洪水が安全に流れるように、ゲート全開操作を行います。

筑後大堰を下流から見た模式図

筑後大堰を横から見た模式図

参考資料 2

【筑後大堰における管理開始以降後の年別ゲート全開操作回数】



【管理開始後最大】

運用開始以降最大の出水は、平成24年7月九州北部豪雨による洪水であり、瀬ノ下地点で毎秒約5,900立方メートルの流量を観測しています。

【筑後大堰管理室の管理情報（ホームページ・iモード）】

		QRコード
筑後大堰のホームページ	http://www.water.go.jp/chikugo/coozeki/	
筑後大堰の管理情報 (iモード)	http://ckgoozeki.jp	